

不燃内装用壁材 グラビオ LB

「施工業者様へのお願い」

- 弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項や
お手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。
必ず、お施主様に手渡していただきますようお願いいたします。
- この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。
(取扱説明書は弊社HP <https://www.daiken.jp/>よりダウンロードも可能です)
- グラビオ LB を廃棄するときは、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」
に従い適正に処理してください。詳細は各自治体にご確認ください。



注意

施工説明書本文に出てくる注意事項の部分は、施工前に注意深く読み、よく理解してください。

安全のためにお守りください



注意

誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 本製品を加工する際は、防塵対策をとって、加工工具の取扱い説明書、注意事項を十分に確認し、安全に作業を行ってください。
必要に応じて防塵マスク、保護手袋・保護めがねを着用してください。
- 本製品を開梱した際に、必ず製品にキズ、割れ、汚損などが無いことを確認してから、加工を行ってください。
- 本製品の切断面は、鋭利になる場合があるので、ケガをしないようにサンドペーパーなどを使用し、必ず面取り加工を行ってください。
- 施工可能な下地は、捨て張り(石膏ボード、合板)もしくは、既存タイルです。
捨て張り材の継目には必ず受け材を入れ、平滑に仕上げてください。
- 曲面下地には使用しないでください。破損のおそれがあります。
- コンクリート等のアルカリ性下地や、雨漏り、水濡れ、結露などのおそれのある下地には、施工しないでください。
- 本製品を施工する際は、必ず弊社スピーデル工法専用接着剤および両面テープを使用し、脱落を防止するため、十分な圧着を行ってください。
- 接着剤が固まるまでに、24時間程度必要です。その間は、衝撃や振動で、施工した本製品がずれたり脱落したりするおそれがあるので、ご注意ください。
- 本製品を取り扱う際は、十分に表面の保護を行ってください。キズが入るおそれがあります。
- 本製品は、一般内装用の壁材です。ご使用になる製品種類と、次頁の使用部位をよく確認して、使用してください。壁以外の用途や、水に浸かってしまう浴室内などには使用しないでください。
- 玄関土間等の床面が濡れるおそれがある場所へ施工する場合には、たたきから50mm以上あげ、水が直接触れないように施工してください。

<施工説明書 目次>

	ページ
⚠ 注意 安全のためにお守りください	1
1. 本製品の用途	2
2. 施工用部材	2
3. 保管・取扱い時の注意事項	3
4. 下地の施工	3
5. 本製品の加工	4
6. 本製品の貼り付け	5
7. 施工部材(別売)を使用した各部の納まり	7
8. タイル下地への施工	8
9. 火気使用場所に施工する場合の注意事項	9
10. 木目柄施工部材(別売)を使用した各部の納まり	10

<取扱説明書 目次>

1. お手入れの方法と注意事項	13
2. DAIKEN 製品の品質保証について	14

1. 本製品の用途

グラビオLBは、熱と水掛かりに強いことが特長の不燃パネルです。
一般的な内装用パネルとしてはもちろん、キッチンパネルとして、また、洗面・脱衣所、トイレなどの水まわり空間などに広くご使用いただけます。

ホルムアルデヒド規制	本製品は建築基準法で告示された17種類の建材以外の製品ですので、告示対象外製品として、使用面積の制限を受ける事なく、お使いいただけます。
使用部位	居室・廊下等の一般内装壁面 キッチン・洗面所・トイレなどの水まわり部の壁面 直接水がかかる場所へ施工する際は、目地部に水がかからないように割り付けを行ってください。 目地部がさけられない場合は、コーキング処理を行ってください。



注意

誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 本製品は、一般住宅、一般内装用途を想定して設計されています。
業務用の厨房設備や工場内装など過度な環境での使用には耐えないおそれがあります。
ご使用にならないでください。
- 本製品は、内装用壁材です。屋外、天井、カウンター、出窓、窓枠など異なった用途には使用しないでください。
- 本製品にシールやテープ、両面テープ、吸盤などを貼らないでください。破損のおそれがあります。
- 本製品はビス保持力がありませんので、製品上に直接設備機器等を取り付けることはできません。
ビスを用いて設備機器等を取り付ける場合は、下地材に適したビスを使用して下地材へ取り付けるか、
下地受け材へ取り付けてください。

2. 施工用部材 ※別売り

グラビオの施工には、専用のテープ・接着剤を必ずご使用ください。 ※
また、施工を補助する部材として、アルミジョイナーやABSジョイナー、巾木などもラインナップしています。
詳しくは、弊社カタログを御確認ください。
※施工補助部材は、柄によってラインナップが異なります。ご注意ください。

スピーデル工法用テープ ●従来品に比べ、低温時の粘着力を大幅にアップ。 冬場の作業トラブルを解消します。 ●特殊粘着性の両面テープ。 ※使用量の目安: 3X8・3X9尺サイズの場合は約1巻/枚 3X6尺サイズの場合は約2/3巻/枚 巻発注品番 WF30-BT01 梱発注品番 WF30-BT00 (20巻入) ■仕様 ホルムアルデヒド規制: 規制対象外 (F☆☆☆☆相当品) 材 質: ポリエチレン系発泡体 サ イ ズ: 厚さ1.0mm、幅 20mm×10m/巻	スピーデル工法用接着剤 ●弾性があり、外的要因による衝撃・震動・膨張・収縮などを吸収緩和します。 ●初期接着性に優れたマスチックタイプ。 ※使用量の目安: 約1本/枚 本発注品番 WF30-BS01 梱発注品番 WF30-BS10 (10本入) ■仕様 ホルムアルデヒド規制: F☆☆☆☆ 日本接着剤工業会 V O C 放 散 性 能: 日本接着剤工業会 4VOC 基準適合製品 主 成 分: 変成シリコーン樹脂 容 器 形 態: カートリッジ型 容 量: 333cc/本
施工キット ※ 使用量の目安: 約2枚分 品番 WF30-BK00 スピーデル工法用接着剤: 2本 スピーデル工法用テープ: 2巻	施工キット (コーキング付) ※ 使用量の目安: 約2枚分 品番 ホワイト WF30-BK10 スピーデル工法用接着剤: 2本 スピーデル工法用テープ: 2巻 コーキング: 1本 マスキングテープ: 1巻

3. 保管・取扱い時の注意事項



注意

誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 野積み、または、立てかけて放置しないで下さい。変形するおそれがあります。
- 直射日光や水ぬれのない平坦な屋内で、平積みで保管してください。
- 開梱後、長時間放置すると変形のおそれがありますのですみやかに施工してください。
- 運搬の際は、製品が曲がらないように、立てて運んでください。曲がり過ぎると、破損のおそれがあります。
- 取扱いの際は、周囲に接触しないように注意してください。破損のおそれがあります。
- 直接ロープ等をかけて取り扱わないで下さい。破損のおそれがあります。

4. 下地の施工

- 下地の間柱は455mmを基本とし、必ず捨て張り材を施工してください。
- 捨て張り材は、厚さ9mm以上の合板、または厚さ9.5mm以上の石膏ボードを使用してください。(水まわりには耐水タイプを使用してください。)
- 捨て張り材の継目は段差のできないように注意してください。
- 捨て張り材と本製品の継目は重ならないようにしてください。
- 本製品の取付け前に必ず、水平・垂直の墨出しを行い、割り付けをしてください。
- 既存のタイル下地に施工する際は、タイルの浮きや不陸を調整した上で、表面の汚れをしっかりと取り除いてから施工してください。

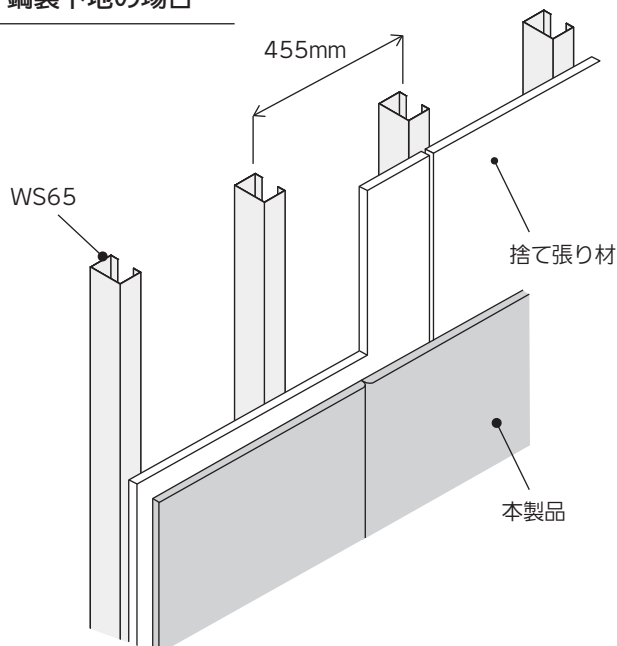


注意

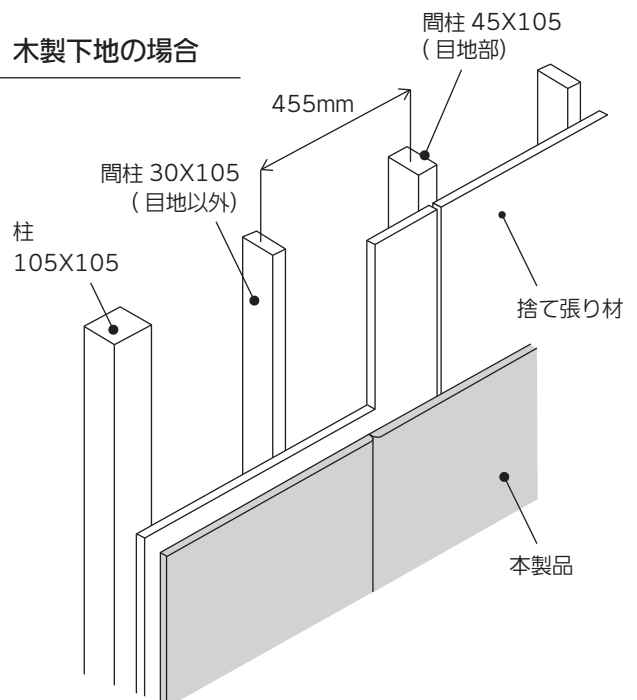
誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 捨て張り材に段差があると接着不良の原因となり、本製品が脱落する原因になりますので、必ず平滑に仕上げてください。
- 必ず捨て張りを行ってください。間柱や胴縁、コンクリート系下地への施工は、施工後の表面異常など、不具合の原因となります。
- 下地は、内部へ外気が流入するような構造にしないでください。下地や本製品に結露などの不具合が発生する原因となります。
- 下地に雨漏り、水漏れ、結露などがある際は、本製品に不具合が発生する原因となりますので施工しないでください。

鋼製下地の場合



木製下地の場合



5. 本製品の加工



注意

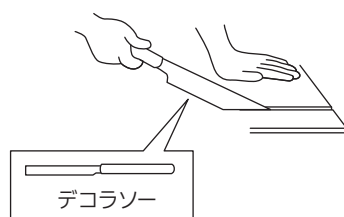
誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- ・切断・研磨等の加工の際に長時間・多量の粉塵を吸入すると健康を損うおそれがありますので十分な防塵対策を行ってください。また、必要に応じて防塵マスク、保護手袋・保護メガネを着用してください。取扱い後は、うがい及び、手洗いを行ってください。
- ・加工工具の使用に際しては、工具の使用上の注意事項を守って安全に作業してください。
- ・本製品の切断面は、鋭利になる場合があるので、ケガをしないようにサンドペーパーなどを使用して、必ず面取り加工を行ってください。
- ・本製品を取り扱う際は、十分に表面の保護を行ってください。キズが入るおそれがあります。
- ・切り欠き部分にバリ、欠け等を生じると表面もしくは基材割れの原因となります。切断面が粗くならない様、ドリルで小穴をあけた後切り欠きを行ってください。

切断加工

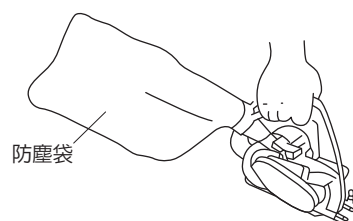
■手鋸切断

手鋸(デコラソー)を使用のときは、切りじまいでの欠けをおこさないように注意してください。



■電動鋸切断

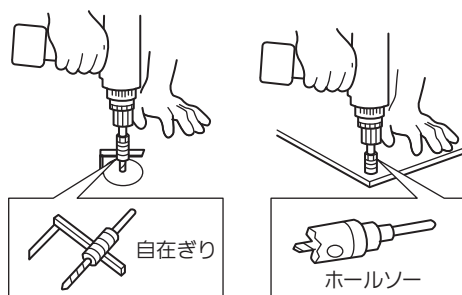
電動鋸を使用するときは超硬チップソー、ダイヤモンドソーをご使用ください。



穴あけ加工

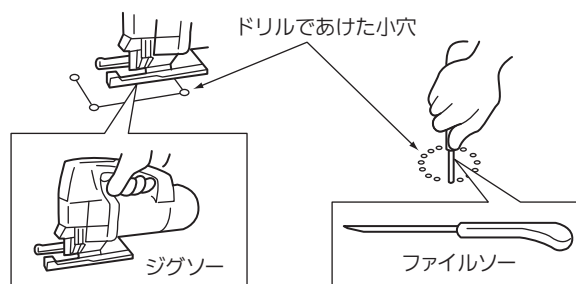
■一般の穴あけ

直径10mm以下ならドリル、それ以上のものは自在ぎりやホールソーをご使用ください。



■不定形の穴あけ

ドリルで小穴をあけた後、ジグソーかファイルソーで穴あけ、切断をします。



仕上加工

■切断の仕上げ



■穴あけ断面の仕上げ



6. 本製品の貼り付け

(1) 清掃と割付け

- 下地の凹凸をなくし、下地や本製品をきれいに清掃します。
- 下地に墨出しをして、割付けます。



注意

- 表面保護のため、作業場所にはダンボール等を敷いて養生を行ってください。
- 墨出し・割付けの際は、水平・垂直に十分注意してください。
- キッチンや水まわりへ施工の際は水が直接かかる位置にパネルの継目がこないように割り付けてください。

(2) 両面テープの貼り付け

本製品裏面の所定位置に両面テープをしっかりと貼り付けます。

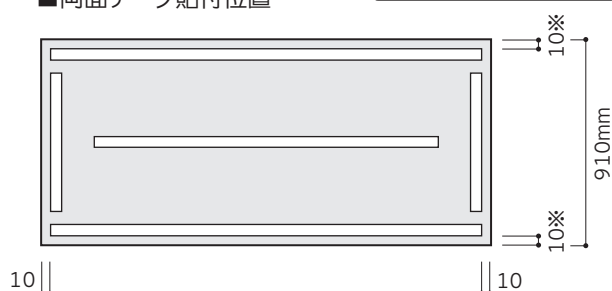
スピーデル工法用テープ ※標準使用量(1枚当たり)
3X9尺・3X8尺サイズ: 約1巻
3X6尺サイズ: 約2/3巻



注意

- 四周の両面テープの位置はボード端より10mm※の位置。
- ※キッチンや水まわりへ施工する場合は、ボード長辺の端より20mmの位置。

■両面テープ貼付位置

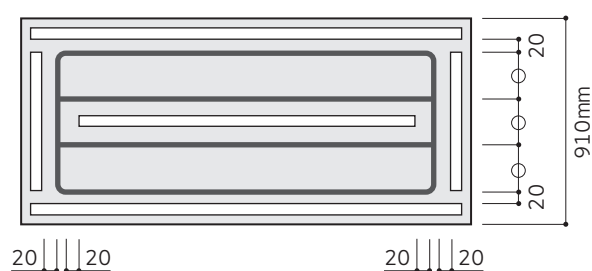


(3) 接着剤の塗布

本製品裏面の所定位置に接着剤を塗布します。



■接着剤塗布位置



スピーデル工法用接着剤 ※標準使用量 (1枚当たり)
3X9尺・3X8尺・3X6尺サイズ: 約1本



注意

- 部屋の形状、施工部位によっては両面テープ、接着剤の塗布は、下地側に行った方がよい場合があります。
- 接着剤の使用上の注意事項を守って安全に作業してください。
- 接着剤は巾約7mm(鉛筆の太さ)を目安とし、直線または波線状に塗布してください。
塗布量が少ないと製品が脱落する可能性があります。
- テープの端から接着剤の端までの距離は20mmとし、本製品圧着時に接着剤が両面テープの上につかないように注意して塗布してください。

(4) 両面テープ離型紙の除去

両面テープ表面の紙を取り除きます。



注意

- 離型紙は確実に取り除いてください。

(5) 位置合わせ



本製品を施工する際は、「突き付け施工」で行います。

本製品を貼りつけるときは、両面テープの位置をしっかりと押さえてください。

接着剤が固まるまで約24時間かかります。



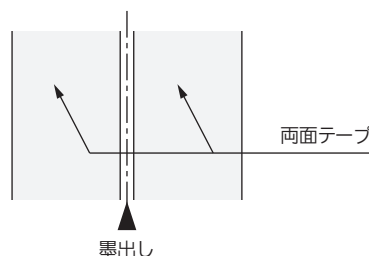
注意

○本製品の短辺や長辺側をカットした場合は端部を見切材もしくはコーキングで納めてください。
コーキングは本製品端部と接続部を3mmの隙間を空け、しっかりと奥まで充填してください。

○キッチンや水まわりへ施工する際は、
水が直接かかる位置にパネルの継目がこないように割り付けてください。

○キッチンや水まわりへ施工する際は、突き付け部に隙間があかないように施工してください。

○キッチンや水まわりへ施工する際は、本製品長辺側（R面取）の継ぎ目部の壁下地に両面テープを貼り、水の浸入を防いでください。



○テープ以外の場所を押さえると、接着剤が薄く
ひろがってしまい接着力が低下するおそれがあります。

○接着剤が固まるまでの間は、本製品に負荷がかかるような作業はおこなわないでください。

7. 施工部材（別売）を使用した各部の納まり

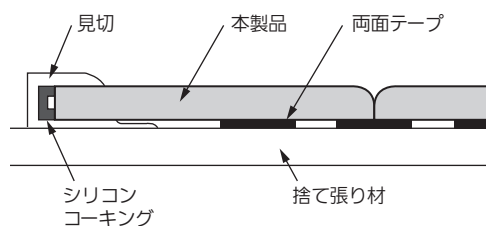
別売りのアルミジョイナーやABSジョイナーを使って施工する方法です。

各図を参考に施工を行ってください。

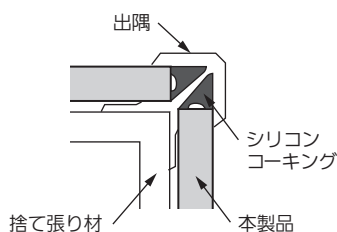
各ジョイナーの差込部には、水の浸入を防ぐためスピーデル工法用接着剤または、シリコンコーキングを充填してください。

ジョイナーを使用する場合

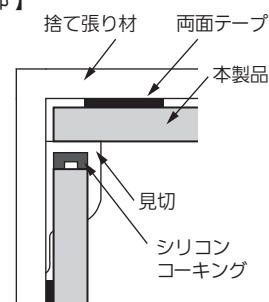
【見切部（製品エンド部）】



【出隅部】

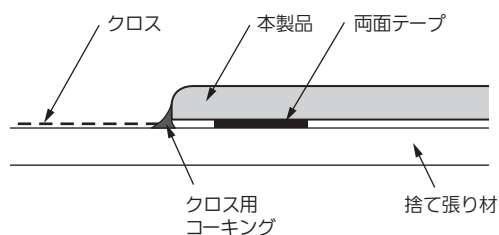


【入隅部】



ジョイナーを使用しない場合

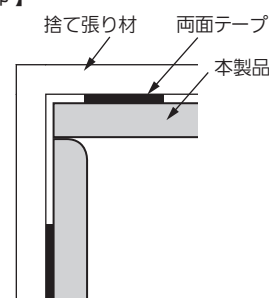
【見切部（製品エンド部）】



【出隅部】

※出隅部はジョイナーを使用して施工してください

【入隅部】



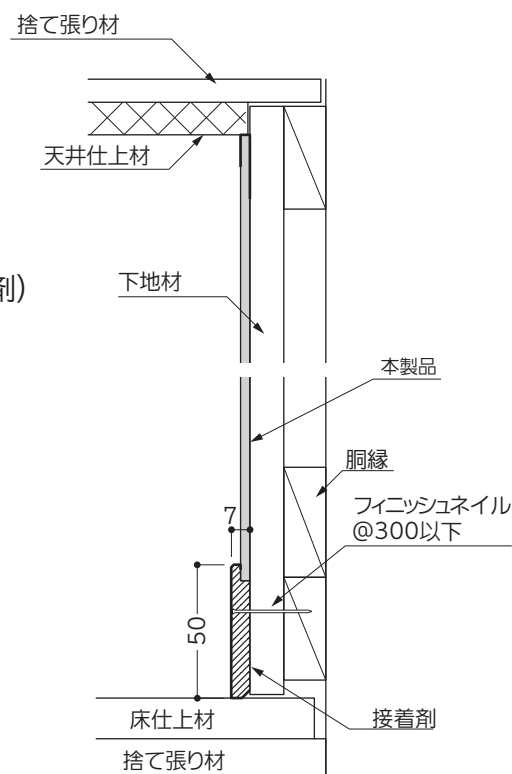
専用の巾木部材として木質 (MDF) 部材をご用意しております。

施工時は接着剤 (木工用ボンド又は、スピーデル工法用接着剤) を線状に塗布し、フィニッシュネイル (300mmピッチ以下) を併用してください。



○施工部材は、不燃材料ではありません。

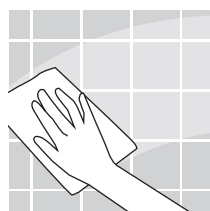
○直接水がかかる部分には、使用しないでください。



8. タイル下地への施工

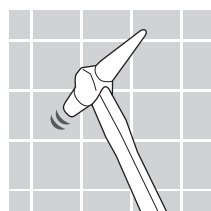
①下地調整

●タイル表面が汚れている場合



タイル表面の汚れを十分に除去してください。

●タイル浮きの確認

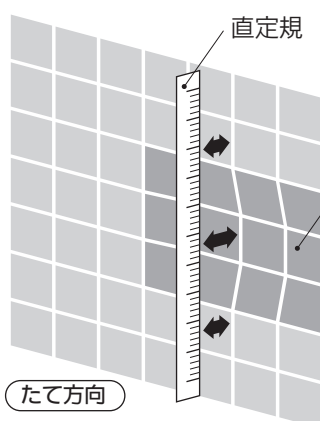


古い壁面タイルでは浮き・剥がれの危険が高いため、打音検査（金槌でタイルの表面をたたき、タイルの異常を音で判断）等でタイルの浮きを調べてください。浮いたり剥がれたタイルはピンニング（タイルに穴をあけ、樹脂を注入）等で補修してください。

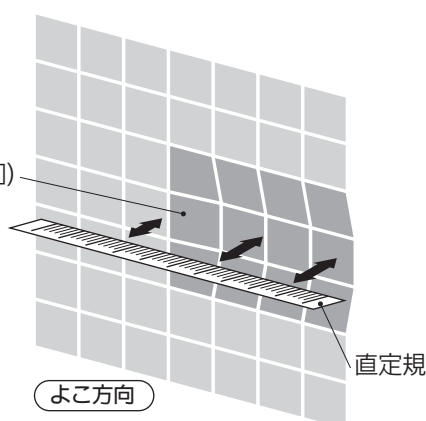
●タイル表面不陸の確認

下図のように直定規・下げ振り・レーザーレベル等を用いて壁面の水平・垂直の不陸を測定してください。

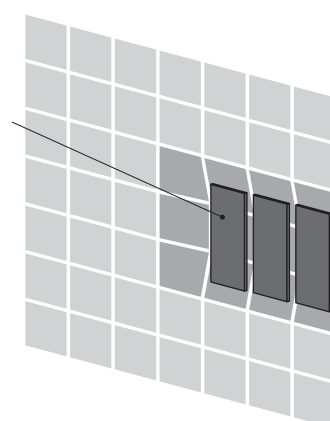
凹部分はブチルゴム板等を用いて調整してください。



たて方向



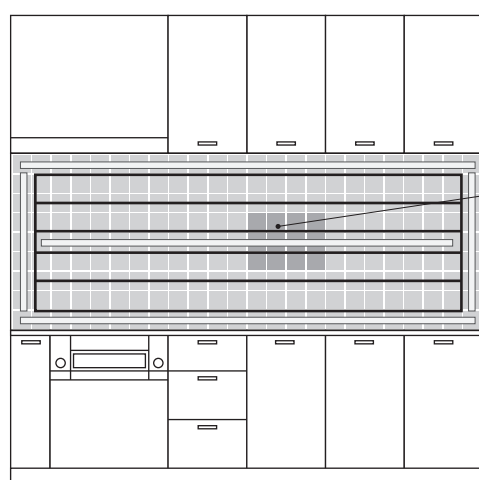
よこ方向



②両面テープの貼り付けおよび接着剤の塗布

●両面テープの貼り付けおよび接着剤の塗布は下地タイル側へ行ってください。

●両面テープの貼り付け位置および接着剤の塗布方法はスピーデル工法を参照してください。



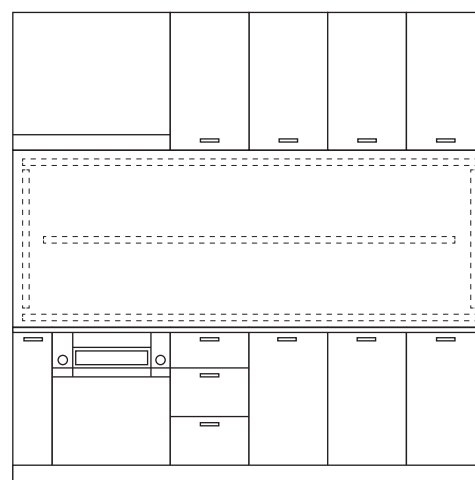
不陸調整した部分

—— 両面テープ
—— 接着剤

③本製品の張り付け

●本製品の位置を調整しながら、下地側に施工した両面テープに押し付けます。

●当て木をして木槌などで両面テープ貼り付け位置をたたいてしっかりと密着させます。この時、本製品の表面を傷つけないように注意してください。



..... 両面テープ位置

施工上のご注意

- 脱落しないように、十分に圧着してください。この際、両面テープ貼り付け部分のみを押さえるようにしてください。接着剤部分を押さえると十分な接着力が得られない場合があります。
- 脱落の原因となりますので接着剤が硬化するまでは強い衝撃を与えたり水をかけたりしないでください。

9. 火気使用場所に施工する場合の注意事項

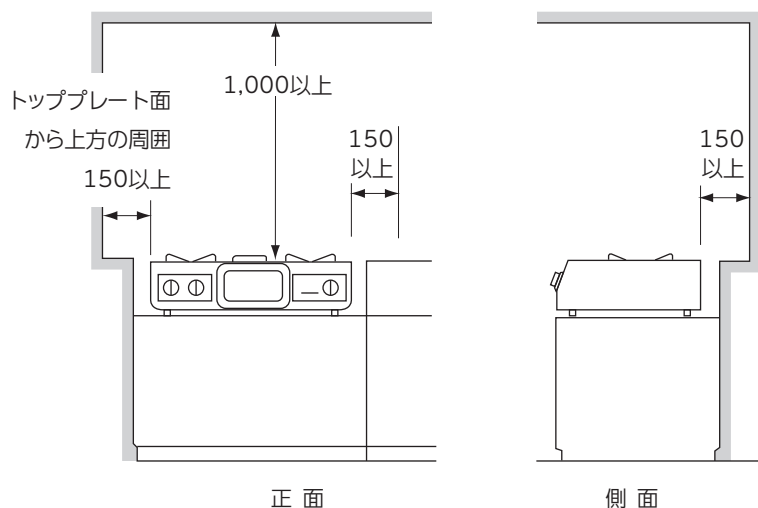


注意

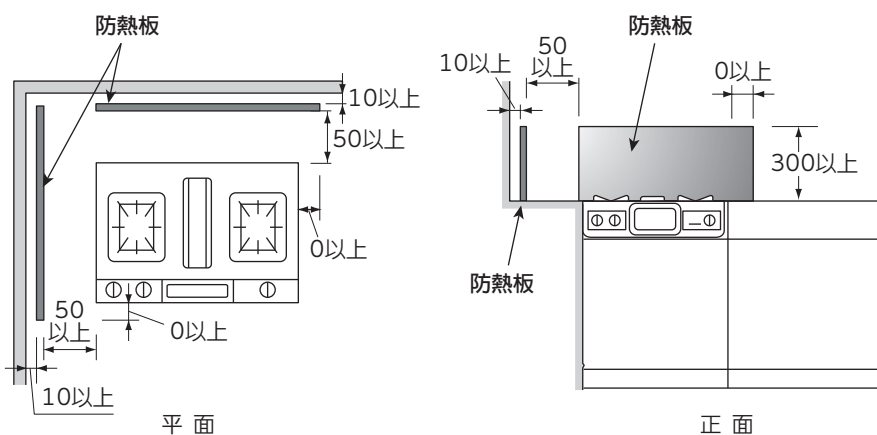
火気に近いところに施工する場合は火災の危険性がありますので
防火上の規制に従い、安全に施工してください。

- ①火災予防条例により、専用住宅、共同住宅、等に設置される火気設備（コンロ等）の
周囲は、構造規制されます。次のことを参考に施工してください。
IH調理器もガス調理器と同様の火気使用室という扱いとしてください。

- ガスコンロ等は、
仕上面から上方に1000mm、
側方及び後方に150mm以上
離れるように設置してください。



- コンロの周囲に150mm以上の空間をとることができない場合。
防熱板を設置してください。この場合も50mm以上の間隔を設けてください。



※防熱板と壁材の間には
10mm以上のすき間をあ
けます。

※コンロのトッププレート面
から上方300mm以上を防
熱板で保護します。

- ②ガスコンロ周辺でご使用される場合、コンロと壁面との距離が近いと、調理用器具（鍋、フライパン等）
の端部が壁面にふれて、ガスコンロの火が調理容器の底を伝って直接壁面にあたり、表面が変色
したり、焦げたりすることがあります。変色しても不燃材料としての性能には問題ありませんが、
美観上好ましくないので、コンロと壁面の間隔を150mm以上とるか、防熱板を取り付けてください。
（この場合も50mm以上の間隔を設けてください。）

※業務用は強い火力が予想されますのでコンロ前にはステンレス板をご使用ください。

- ③ガスコンロ前には目地が入らないように割付けてください。

10. 木目柄施工部材(別売)を使用した各部の納まり

専用の施工部材として木質(MDF)部材をご用意しています。



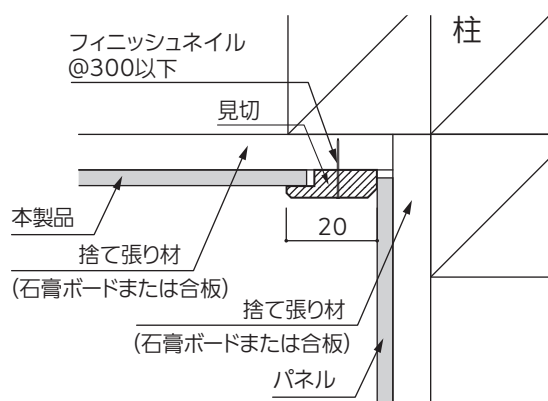
注意

○施工部材は、不燃材料ではありません。

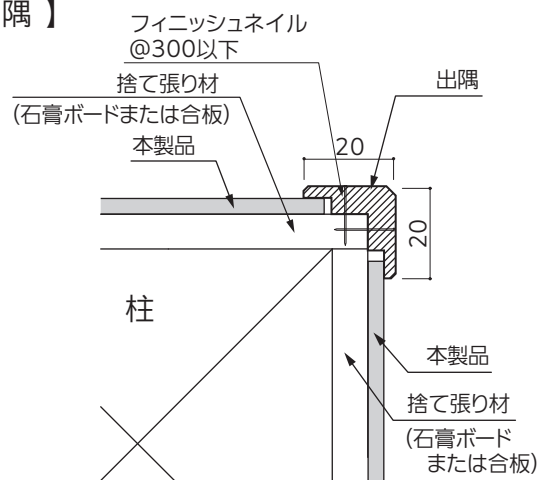
○直接水がかかる部分や、キッチンのコンロまわりなどには、使用しないでください。

※接着剤(木工用ボンドまたはスピーデル工法用接着剤)を線状に塗布し、
フィニッシュネイル(300mmピッチ以下)を併用してください。

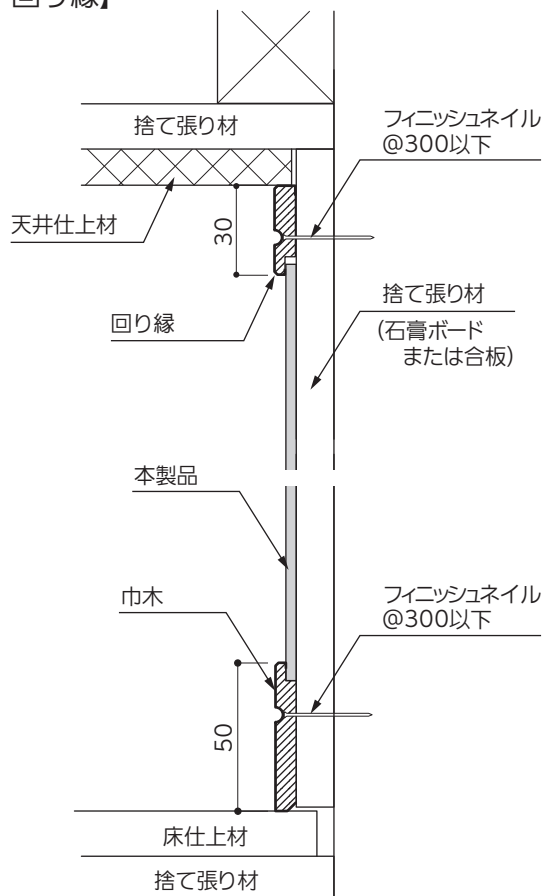
【見切／入隅】



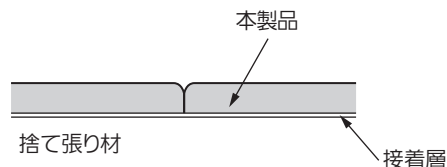
【出隅】



【巾木／回り縁】



【突き付け】



注意

○施工の際は、軽くあてる程度の手応えで突き付けてください。強く突き付けると製品の破損や寸法変化によって不具合が起こる可能性があります。

○広い範囲に連続して使用する場合には、目すかしで施工してください。寸法変化によって、目地部分が浮き上がったり、目すきが起る可能性があります。

MEMO

不燃内装用壁材 グラビオ LB

「お施主様へのお願い」

弊社製品をご購入いただきありがとうございます。

この取扱説明書には、製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項や、お手入れの方法などの重要な内容を記載しております。

弊社製品ご使用の際は、取扱説明書をよく読んで正しくご使用ください。

(取扱説明書は弊社HP <https://www.daiken.jp/>よりダウンロードも可能です)



1. お手入れの方法と注意事項

- お手入れの方法
- 本製品をきれいに保つためには、汚れはこまめに落してください。
 - 汚れは、カラ拭き、水拭き、うすめた中性洗剤で拭きとります。
 - 落ちにくい汚れは、アルコールでかるく拭きとってください。



⚠ 注意

- お手入れに使用する洗剤は、必ず中性のものを使用してください。
酸性、アルカリ性のものは表面を傷めるおそれがあります。
- 洗剤は、ぞうきん等へつけて使用してください。
直接かけたり、吹きつけると表面に、シミ・変色ができるおそれがあります。
- スチールたわし、クレンザー、メラミンスポンジなどは、表面を傷めます。絶対に使用しないでください。
- アルコールで強くこするとシミ・変色などが起こるおそれがあります。
- 除菌や消毒のために塩素系漂白剤をご使用の際は、漂白剤の使用方法を守って正しくご使用ください。
必ず希釈して使用し、漂白剤は速やかに拭き取ってください。漂白剤が長時間付着したままにしないでください。表面を傷めるおそれがあります。
- シールやテープ、両面テープなどを貼らないでください。破損のおそれがあります。
- タオルハンガー、フックなどを吸盤・両面テープで取り付けないで下さい。破損のおそれがあります。
取付けの際は、施工業者様に下地材をご確認の上、下地材に適したビス等を使用いただくか、下地受け材へ取り付けてください。

2. DAIKEN 製品の品質保証について

○弊社では、対象製品について下記保証期間・保証事項に記す内容を保証させていただきます。

1. 対象製品

不燃化粧壁材 グラビオLB

2. 保証事項

外観上の著しい変形・変質が生じないこと

通常的环境下で、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態(前提条件)で、上表の事項を保証します。尚、本内容は日本国内においてのみ有効です。

3. 保証期間

本製品の、保証期間は 2年間です。

弊社製品の施工完了後、または物件の引渡後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としております。

保証期間を経過したものは、有料となります。

4. 免責事項

製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても「有料扱い」になります。

- ①建物の設計・施工に起因する不具合
- ②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- ③自然現象・周辺環境等(※1)の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はそのほかの不具合
- ④室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キシミ音などの不具合
- ⑤極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合
- ⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
- ⑦入居者または第三者の不適切な使用または維持管理等に起因する不具合
- ⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
- ⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変褪色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
- ⑩用途外に使用された場合の故障及び損害
- ⑪犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキクイムシなどの虫害に起因する不具合
- ⑫仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
- ⑬保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
- ⑭製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
- ⑮離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費
- ⑯その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

※1:火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

5. 廃棄上の注意

本製品を廃棄する際は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」および地方自治体の規制に基づき適切な処理を行ってください。

廃棄上の注意

本製品を廃棄する際は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」および地方自治体の規制に基づき適切な処理をおこなってください。

お客様へのお願い

製品のお取扱い・修理・工事などについては、始めに工事をされた工事店、販売店様へご相談ください。

製品の仕様や施工方法に関するお問い合わせは

お客様センター

 0120-787-505

受付時間：平日 9:00 ～ 17:00

(土・日・祝日・年末年始・お盆は休みとなります。)

お問い合わせ、カタログ請求は、Webでも！

DAIKEN のホームページのご案内

DAIKEN お客様サポート

検索

<https://www.daiken.jp/contact/>

メールで写真も送ることができます。



ユーザー登録サービス

商品を未永く安全に使用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録はこちらから(無料)

DAIKEN ユーザー登録

検索

<https://service.daiken.jp/user/>



*ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、ご利用させていただきます。

DAIKEN株式会社